

総説

1. 石原寿光：糖尿病薬物治療効果におけるグルカゴンの役割. 日本医事新報 4950 号：52, 2019
2. 田中彩, 石原寿光：糖尿病ケトアシドーシス. 糖尿病最新の治療 2019-2021：157-160, 2019
3. 渡邊健太郎, 石原寿光：血糖に関する患者のギモン 血糖の役割と血糖値(1). 糖尿病ケア 15 巻 6 号：480-487, 2018
4. 石原寿光：SGLT 阻害薬と膵 α 細胞機能. 内分泌・糖尿病・代謝内科 46 巻 4 号：246-250, 2018
5. 石原寿光：糖尿病薬物治療戦略の最前線. 日大医学雑誌 76 巻 4 号・5 号合併号：251-253, 2017
6. 石原寿光：インスリン分泌の基本メカニズムと最新の研究動向. 実験医学 35 巻 2 号：15-21, 2017
7. 石原寿光, 入江潤一郎, 金澤昭雄, 本田賢也：腸内細菌叢と 2 型糖尿病. Islet Equality 5 巻 3 号：6-15, 2016
8. 山口賢, 石原寿光：膵 α 細胞研究の進化と展望 グルカゴン・ルネッサンス(第 4 回) 血糖降下薬のグルカゴン作用を考慮した 2 型糖尿病治療. Islet Equality 5 巻 2 号：15-18, 2016
9. 植木浩二郎, 酒井寿郎, 島津忠広, 石原寿光：ケトン体を科学する. Diabetes Strategy 6 巻 3 号：103-114, 2016
10. 石原寿光：DPP-4 阻害薬の膵島作用と膵 β 細胞保護効果. 月刊糖尿病 8 巻 12 号：25-32, 2016
11. 山口賢, 石原寿光：糖尿病におけるグルカゴンの役割. 糖尿病第 59 巻第 5 号：332-335, 2016
12. 小須田南, 石原寿光：ソマトスタチン. 別冊プラクティス 糖尿病を診る ポケット検査事典第 1 版第 1 刷：18, 2016
13. 小須田南, 石原寿光：グルカゴン. 別冊プラクティス 糖尿病を診る ポケット検査事典第 1 版第 1 刷：17, 2016
14. 小須田南, 石原寿光：プロインスリン/インスリン比(P/I 比). 別冊プラクティス 糖尿病を診る ポケット検査事典第 1 版第 1 刷：15-16, 2016
15. 小須田南, 石原寿光：インスリン(IRI). 別冊プラクティス 糖尿病を診る ポケット検査事典第 1 版第 1 刷：12-13, 2016
16. 齋藤のぶ子, 石原寿光：糖尿病神経障害の新たな診断機器. 日本医事新報第 4804 号：52, 2016
17. 山名碧, 石原寿光：グルカゴンの最新の知見. 日本医事新報第 4800 号：49, 2016

18. 小須田南, 石原寿光 : SAP の利用と今後について. 日本医事新報第 4797 号 : 51, 2016
19. 橋本愛, 石原寿光 : 週 1 回投与の DPP-4 阻害薬. 日本医事新報第 4794 号 : 47, 2016
20. 荒井秀仁, 石原寿光 : 妊娠中の糖代謝異常の診断基準の統一. 日本医事新報第 4790 号 : 51, 2016
21. 松島えり子, 石原寿光 : GLP-1 受容体作動薬. 糖尿病最新の治療 2016-2018 : 166-170, 2016
22. 堀田瑛子, 石原寿光 : 新規持効型インスリン製剤の特徴. 日本医事新報第 4788 号 : 57, 2016
23. 鈴木裕太, 原田奈月子, 中安弘毅, 稲田紀子, 江頭富士子, 石原寿光, 嘉村由美 : Vogt-小柳-原田病と自己免疫性 1 型糖尿病とを合併した 1 例. 眼科 57 巻 13 号 : 1705-1710, 2015
24. 石原寿光 : 糖尿病と再生医療. Diet Exercise Medicine 10 巻 : 02-05, 2015
25. 石原寿光 : 境界型から正常型へほどの程度戻るか, あるいは糖尿病にならずに境界型でどの程度維持できるか. 糖尿病診療マスター 13 巻 10 号 : 803-807, 2015
26. 石原寿光, 金塚東, 三家登喜夫, 藤谷与士夫 : 2 型糖尿病における膵 β 細胞でのアミロイド生成メカニズム研究の現況と展望 膵島アミロイドと 2 型糖尿病. Islet Equality 4 巻 3 号 : 5-18, 2015
27. 寺内康夫, 石原寿光, 美内雅之, 三木隆司 : 膵 α 細胞の機能異常の防止・改善を見据えた 2 型糖尿病研究の現況と展望. Islet Equality 4 巻 2 号 : 4-15, 2015
28. 石原寿光 : 糖尿病の療養指導 Q&A グルカゴン受容体拮抗薬 開発段階の新薬であるグルカゴン受容体拮抗薬について教えてください. プラクティス 32 巻 4 号 : 459-460, 2015
29. 上野のぶ子, 石原寿光 : 糖尿病合併症の診断、対策、治療 糖尿病性ケトアシドーシスの診断、対策、治療. 腎と透析 78 巻増刊 : 278-282, 2015
30. 石原寿光 : 患者さんといっしょに覚える! 経口血糖降下薬・インクレチン関連薬のはたらきと使い方 速効型インスリン分泌促進薬. 糖尿病ケア 12 巻 6 号 : 526-529, 2015
31. 石原寿光 : 患者さんといっしょに覚える! 経口血糖降下薬・インクレチン関連薬のはたらきと使い方 スルホニル尿素薬. 糖尿病ケア 12 巻 6 号 : 522-525, 2015
32. 石原寿光 : 病態生理 膵 α 細胞・グルカゴンの糖代謝における役割. 最新医学 70 巻 3 月増刊 : 504-509, 2015
33. 山口賢, 大塚雄一郎, 石原寿光 : グルカゴン分泌機構とその調節. 医学のあゆみ 252 巻 5 号 : 395-401, 2015
34. 石原寿光 : 2 型糖尿病におけるインスリン治療の位置付け. 日本医師会雑誌 143 巻 8 号 : 1695-1698, 2014
35. 稲垣 暢也, 石原 寿光, 寺田 典生, 栗林 伸一 : インクレチン製剤(DPP-4 阻害薬)、SGLT2

- 阻害薬の実臨床における使い分けと今後の展望. *Islet Equality* 3 巻 3 号 : 4-15, 2014
36. 石原寿光 : グルコースによるインスリン分泌におけるグルタミン酸の役割. *内分泌・糖尿病・代謝内科* 第 39 巻 2 号 : 109-113, 2014
 37. 崔 美花, 小関 淳, 梅田 香織, 石原 寿光, 加藤 茂明, 榎島 誠 : マウス膵臓ランゲルハンス島におけるビタミン D 受容体依存性の食欲調節ホルモン peptide YY の発現誘導. *ビタミン* 88 巻 5-6 : 328-329, 2014
 38. 田中 彩, 石原 寿光 : DPP-4 阻害薬との併用に適した薬剤はどれですか?. *治療* 96 巻 6 号 : 980-982, 2014
 39. 寺内 康夫, 石原 寿光, 北村 忠弘, 林 良敬 : 糖尿病の病態と治療におけるグルカゴンの役割. *Diabetes Update* 3 巻 2 号 : 60-68, 2014
 40. 大塚 雄一郎, 山口 賢, 石原 寿光 : グルカゴンの全身における作用. *Diabetes Frontier* 25 巻 2 号 : 169-173, 2014
 41. 石原 寿光 : 糖尿病治療における膵 β 細胞機能維持の重要性 薬物療法に対する期待を踏まえて. *東京都医師会雑誌* 67 巻 2 号 : 135-138, 2014
 42. 石原 寿光 : 糖尿病 基礎分野での進歩 グルカゴン研究の現状と課題. *Annual Review 糖尿病・代謝・内分泌* 2014 巻 : 10-14, 2014
 43. 石原寿光 : シタグリプチンは 2 型糖尿病患者の入院・死亡リスクを上昇させない. *MMJ* March 2014 10 巻 1 号 : 28-29, 2014
 44. 片山茂裕, 石原寿光, 山岸昌一, 吉田雅幸 : 心血管疾患の発症抑制を考慮した糖尿病の包括的治療. *Pharma Medica* 32 巻 2 号 : 147-152, 2014
 45. 石原寿光 : グルカゴン研究の現状と課題. *糖尿病・代謝・内分泌* 2014 : 10-14, 2014
 46. 弘世貴久, 羽田勝計, 石原寿光, 田中逸, 前川聡, 川畑由美子, 富永貴元, 黒田暁生, 小林邦久, 井形元維, 渡邊隆宏, 武部典子, 前田朝美, 武田貞二, 伊藤裕進, 池上博司, 井上康, 松久宗英, 近藤龍也, 久木留大介, 綿田裕孝, 佐藤譲, 江藤一弘, 駒津光久, 能宋伸輔, 寺前純吾, 谷澤幸生, 野見山崇, 荒木栄一, 本島寛之, 安孫子亜津子, 山口賢, 太田明雄, 卯木智, 廣峰義久, 花房俊昭, 松本俊夫, 柳瀬敏彦, 石井規夫, 河盛隆造 : 糖尿病患者に対する血糖平坦化を目指したミグリトールとインスリン併用療法の有用性の検討. *セラピューティック・リサーチ* 34 巻 12 号 : 1509-1511, 2013
 47. 石原寿光 : グルカゴンルネッサンス. *日本内科学会誌* 102 巻 12 号 : 3237-3243, 2013
 48. 石原寿光 : インクレチン関連薬の登場後の見えつつある課題・疑問点を考える. *Islet Equality* 2 巻 4 号 : 4-15, 2013
 49. 石原寿光 : インスリン治療の現状と今後の展望. *医薬ジャーナル* 49 巻 10 号 : 2396-2400, 2013
 50. 石原寿光 : 細胞死と疾患 糖尿病における膵島構成細胞の生死. *遺伝子医学 MOOK 別冊細*

胞死研究の今一疾患との関わり，創薬に向けてのアプローチ：58-62，2013

51. 石原寿光，Young Lee：DPP-4 阻害薬とインスリンを含めた，期待される他剤との併用効果 エキスパートへの質疑応答．Islet Equality 2 巻 3 号：23-29，2013
52. 石原寿光：膵島細胞間クロストークの破綻と 2 型糖尿病発症．カレントセラピー 31 巻 9 号：927-931，2013
53. 加来浩平，石原寿光，島野仁，野出孝一：大血管障害抑制を見据えた糖尿病の治療戦略．Pharma Medica 31 巻 9 号：107-112，2013
54. 古川麻美，石原寿光：インスリンとグルカゴンの相互作用について教えてください．ここが知りたいインクレチン関連薬：25-28，2013
55. 古川麻美，石原寿光：DPP-4 とその基質について教えてください．ここが知りたいインクレチン関連薬：15-16，2013
56. 秋山響子，大久保具明，俵聡，早瀬未紗，松崎真和，江頭富士子，飯田圭，古屋真吾，岡本真由美，石原寿光，長尾建，平山篤志：感染を契機に増悪した清涼飲料水症候群の一例．日大医学雑誌 72 巻 2 号：120-121，2013
57. 中崎 満浩，石原 寿光：GLP-1 受容体作動薬のポジショニングと使い分け．糖尿病診療マスター 11 巻 4 号：351-354，2013
58. 石原 寿光：インスリン分泌機構と創薬．Medical Practice 30 巻 5 号：830-832，2013
59. 大塚 雄一郎，中崎 満浩，石原 寿光：DPP-4 阻害薬の使い方．糖尿病診療マスター 11 巻 3 号：231-236，2013
60. 古川麻美，石原寿光：糖尿病患者における血中インスリン値とグルカゴン値．月刊糖尿病 4 巻 13 号：59-64，2012
61. 石原寿光，矢部大介，河盛段，美内雅之：グルカゴン分泌機構からみた 2 型糖尿病治療 インクレチン関連薬のグルカゴン分泌に対する作用と臨床的意義を中心に．Islet Equality 2012 1 巻 2 号：4-14，2012
62. 古川麻美，大塚雄一郎，大川原奈々，東海林忍，山口賢，江頭富士子，岡本真由美，中崎満浩，石原寿光：空腹時低血糖を認めた胃全摘術後の 79 歳男性．Diabetes Frontier 23 巻 5 号：591-598，2012
63. 小田原雅人，秋下雅弘，石原寿光，要伸也，林晃一，平山篤志：脳・心血管系イベントを抑制するために今から始める新しい糖尿病治療．薬理と治療 40 巻 4 号：243-247，2012
64. 中崎満浩，石原寿光：インクレチン関連薬のグルカゴン分泌抑制作用の重要性．月刊糖尿病別冊 4 巻 7 号：142-150，2012.
65. 東海林忍：糖尿病の管理 検査値とその意味．眼科 54 巻 7 号：923-927，2012.

66. 東海林忍, 中崎満浩, 石原寿光: スルホニル尿素薬と速効型インスリン分泌促進薬. カレントセラピー 30 巻 7 号: 624-629, 2012.
67. 石原寿光: 糖尿病治療学の歩みと今後の展望. 日本臨床 70 巻増刊 3 最新臨床糖尿病学(上): 26-31, 2012.
68. 大塚雄一郎, 石原寿光: 自己注射療法の新たな展開 基本は 4 回打ちの 2 型糖尿病の強化インスリン療法. Medicina 49 巻 5 号: 838-841, 2012.
69. 綿田裕孝, 水上浩哉, 古家大祐, 藤田征弘, 石原寿光, Stefano Del Prato, James Foley: 日本の臨床におけるビルダグリプチンの位置づけ その最新の話題と展望. 新薬と臨床 61 巻 4 号: 953-964, 2012.
70. 石原寿光: SGLT2 阻害薬. International Review of Diabetes 3 巻 2 号: 108-110, 2012.
71. 石原寿光, 綿田裕孝, Jens Juul Holst: GLP-1 をめぐる最新の研究動向と臨床的話題. International Review of Diabetes 3 巻 2 号: 93-107, 2012.
72. 山口賢, 石原寿光: DPP-4 阻害薬+SU 薬で重症低血糖の起こるメカニズム. 糖尿病診療マスター 9 巻 6 号: 597-601, 2011.
73. 石原寿光: インスリン・グルカゴン分泌機構からみた 2 型糖尿病治療. 糖尿病学の進歩 45 号: 297-300, 2011.
74. 石原寿光: GLP-1 受容体作動薬の有効性と意義. 糖尿病診療マスター9 巻 5 号: 528-533, 2011.
75. 石原寿光: GLP-1 受容体作動薬を使う. 2 型糖尿病の薬物療法ハンドブック: 77-82, 2011.
76. 門脇孝, 石原寿光, 林道夫, 森保道: これからの糖尿病治療を考える. 新薬と臨床 60 巻 11 号: 2190-2200, 2011.
77. 石原寿光: 2 型糖尿病および糖尿病合併症発症におけるストレス応答障害. Nephrology Frontier 10 巻 2 号: 159-162, 2011.
78. 石原寿光: DPP-4 阻害薬. スマートな糖尿病診断と治療の進め方: 183-188, 2011.
79. 東海林忍, 江頭富士子, 大塚雄一郎, 大川原奈々, 佐川知雅子, 岡本真由美, 石原寿光: 糖尿病に合併した肝細胞癌の 1 例. Diabetes Frontier 22 巻 2 号: 183-188, 2011.
80. 石原寿光: 小胞体ストレス. 動脈硬化予防 10 巻 1 号: 107-108, 2011.
81. 石原寿光: 糖尿病の感受性遺伝子. 日大医学雑誌 70 巻 2 号: 128-129, 2011.
82. 石原寿光: インクレチン刺激による膵 α 、 β および δ 細胞間のクロストーク. 日本臨床 69 巻 5 号: 795-800, 2011.
83. 清野裕, 石原寿光, 稲垣暢也, 清野進: DPP-4 阻害薬を用いた新しい 2 型糖尿病治療への期待 SU 薬との併用を中心に. 日本医事新報 4530 号: C1-C7, 2011.

84. 石原寿光 : GLP-1 受容体作動薬への期待. *Mebio*28 巻 4 号 : 30-35, 2011.
85. 小泉順二, 吉岡成人, 伊藤博史, 五十嵐雅彦, 松井淳, 及川眞一, 島田朗, 寺内康夫, 石原寿光, 小山一憲, 佐藤麻子, 戸邊一之, 稲垣暢也, 西理宏, 今川彰久, 小川渉, 江本政広, 和田淳, 岸川秀樹, 吉成元孝 : 新しい糖尿病診断基準と国際標準化 HbA1c の運用について. *糖尿病* 53 巻 12 号 : np1-np2, 2010.
86. 大川原奈々, 石原寿光 : インスリン・グルカゴン分泌に対するインクレチン作用. *ホルモンと臨床* 58 巻 1 号 : 23-26, 2010.
87. 石原寿光 : 新しい 2 型糖尿病治療薬について GLP-1 受容体作動薬と DPP-4 阻害薬. *日大医学雑誌* 69 巻 5 号 : 322, 2010.
88. 石原寿光 : 2 型糖尿病における膵島機能と glucagon-like peptide-1(GLP-1). *内分泌・糖尿病・代謝内科* 第 31 巻 6 号 : 599 - 604, 2010.
89. 大川原奈々, 石原寿光 : 糖尿病診療 Update いま何が変わりつつあるのか 急性合併症の診かた 低血糖性昏睡. *Medicina* 47 巻 12 号 : 1918-1920, 2010.
90. 石原寿光 : 膵 β 細胞の再生治療. *Current Terapy* 28 巻 11 号 : 1076, 2010.
91. 石原寿光 : 糖尿病研究の進歩と展望 2 型糖尿病の病態形成におけるインスリン分泌機構の障害. *糖尿病学の進歩* 44 号 : 201-205, 2010.
92. 石原寿光 : SGLT 阻害薬. *日本医師会雑誌* 139 巻特別 2 : S177, 2010.
93. 石原寿光 : 小胞体ストレスと 2 型糖尿病における膵 β 細胞脱落. *Medical Science Digest* 36 巻 11 号 : 1034-1035, 2010.
94. 石原寿光 : インスリン分泌における小胞体ストレスの役割. *糖尿病ナビゲーター* 第 2 版 : 58-59, 2010.
95. 石原寿光 : 膵島の生物学と 2 型糖尿病治療. *東京都医師会雑誌* 63 巻 7 号 : 839-853, 2010
96. 岡本真由美, 石原寿光 : インクレチンの膵島作用 : 膵 α 細胞. *月刊糖尿病* 2 巻 7 号 : 26-32, 2010.
97. 東海林忍, 佐川知雅子, 江頭富士子, 春日広一, 川村弥, 岡本真由美, 林洋一, 石原寿光 : 起立性低血圧のため血圧コントロールに難渋した 1 例. *Diabetes Frontier* 21 巻 2 号 : 221-227, 2010.
98. 石原寿光 : エイジング、アンチエイジングと膵内分泌細胞機能障害 エイジングと膵 β 細胞障害. *Diabetes Frontier* 21 巻 1 号 : 61-65, 2010.
99. 江頭富士子, 石原寿光 : [インクレチンのすべて 膵 β 細胞研究から新たな糖尿病治療へ] インクレチン基礎研究 インクレチンの膵 α 細胞に対する作用. *医学のあゆみ* 233 巻 5 号 : 359-364, 2010.

100. 佐川知雅子, 石原寿光: 血管合併症の予防とインスリン療法. 月刊糖尿病 2 巻 6 号 : 80-85, 2010.
101. 岡本真由美, 江頭富士子, 石原寿光: より良い診療を目指して 他診療科との連携 糖尿病患者の周術期の管理 (局所麻酔を中心に). 眼科 52 巻 3 号 : 313-318, 2010.
102. 石原寿光: 糖尿病における膵 β 細胞死. 実験医学 28 巻 7 号 : 1174-1181, 2010.
103. 石原寿光, 岡本真由美, 江頭富士子, 佐川知雅子: より良い診療を目指して 他診療科との連携 糖尿病の管理および治療. 眼科 52 巻 2 号 : 211-216, 2010.
104. 江頭富士子, 岡本真由美, 佐川知雅子, 石原寿光: より良い診療を目指して 他診療科との連携 糖尿病の分類と病態. 眼科 52 巻 1 号 : 75-82, 2010.
105. 石原寿光: 注目される用語の解説 糖尿病 グルコースクランプ. 動脈硬化予防 8 巻 4 号 : 80-81, 2010.
106. 石原寿光: 2 型糖尿病発症における膵 β 細胞障害の分子機構. 糖尿病 52 巻 11 号 : 884-886, 2009.
107. 石原寿光: 糖尿病 基礎分野での進歩 膵 β 細胞におけるストレス応答と生存. Annual Review 糖尿病・代謝・内分泌 2010 巻 : 4-8, 2010.
108. 石原寿光: 加齢・老化と膵 β 細胞小胞体ストレス応答. 内分泌・糖尿病科 29 巻 6 号 : 544-550, 2009.
109. 石原寿光: 病院と診断 糖尿病の成因 遺伝か、環境か、生活習慣か?. 糖尿病医療スタッフのプラクティス 26 巻 6 号 : 589-590, 2009.
110. 石原寿光: 膵 β 細胞の疲弊とは?. 糖尿病医療スタッフのプラクティス 26 巻・5 号 : 471-473, 2009.
111. 石原寿光: ランゲルハンス島 “A” 細胞—忘れられかけた血糖コントロールのもう一つの担い手—. 糖尿病医療スタッフのプラクティス 26 巻・4 号 : 349-351, 2009.
112. 石原寿光: わかりやすい分子糖尿病学 ミトコンドリア代謝によるインスリン分泌シグナルの形成. International Review of Diabetes 1 巻・1 号 : 48-52, 2009.
113. 石原寿光: β 細胞研究の最前線 膵 β 細胞量調節とストレス応答. 糖尿病学の進歩 43 号 : 34-37, 2009.
114. 石原寿光: 糖尿病発症における膵 β 細胞の小胞体ストレスとアポトーシス. 細胞工学 28 巻・10 号, 2009.
115. 山岡素子, 石原寿光: 内分泌・代謝 血糖管理指標 グルコアルブミン、1,5-AG、食後血糖など. 診断と治療 97 巻・9 号 : 1842-1846, 2009.
116. 石原寿光: ミトコンドリア代謝によるインスリン分泌シグナルの形成. International Review of Diabetes Vol.1・No.1 : 48-52, 2009.

117. 石原寿光：経口糖尿病薬：どの薬剤からはじめるか？. 月刊糖尿病学 1 巻・2 号：83-88, 2009.
118. 石原寿光：膵 β 細胞のストレス応答・生存と mRNA 翻訳制御. 生化学 81 巻・6 号：474-485, 2009.
119. 石原寿光：小胞体ストレス下における膵 β 細胞の生と死. 分子糖尿病学の進歩：8-13, 2009.
120. 石原寿光, 山口 賢, 岡 芳知：膵島ストレス応答および膵島維持における mRNA 翻訳制御の役割. 糖尿病学 2009：26-32, 2009.
121. 岡本真由美, 石原寿光：発症の仕方からみた糖尿病の分類. からだの科学 261：11-14, 2009.
122. 山岡素子, 石原寿光：糖尿病の薬物療法の原則. Mebio 8 26 巻・8 号：28-34, 2009.
123. 石原寿光：脂肪蓄積による影響 肥満に対する膵 β 細胞の応答と破綻. 実験医学 27 巻 7 号：1161-1167, 2009.
124. 石原寿光：特論 ミトコンドリア由来代謝シグナルによるインスリン分泌制御研究の新展開. 日本臨床 66 巻増刊 9 新時代の糖尿病学(4)：655-660, 2008.